

車種別取付資料

BOX No. 581321

車両情報

スズキ アルト・アルトターボRS 平成26年12月～ HA36
マツダ キャロル 平成26年12月～ HB36 1/5ページ

Type N.L.

Opt. ドアロックリレーNEXT(EP162)

❶ プッシュスタートシステム付き車のみ

◎カバー類の取り外しは、必ずこのページの手順のとおりに行ってください。

❶ 各配線の取り付けについては、2/5～5/5ページをご覧ください。

重要!

◎作業前に必ず車両のバッテリー（マイナス端子）を外し、3分間放置してください。

- バッテリーを接続したままの状態、BCM裏側のカプラの抜き差しを行うと、ECUが故障する恐れがあります。必ずバッテリー（マイナス端子）を外し、3分間放置してから作業を行ってください。
- バッテリー（マイナス端子）の接続は、必ず全ての接続作業が完了した後で行ってください。

❶ 注意事項

- ・取り付けできるエンジンスターターは、プッシュスタート専用モデルのNEXT LIGHT 101（商品コード：ESL101）のみです。
- ・専用ハーネスと送信ユニットはセット商品に含まれています。
- ・取り付け後は、初期設定が必要になります。（2/5ページ左下に記載）
- ・エンジンスターターにてエンジン始動の際は、必ずリモコンと電子キーを付属のキーホルダーに取り付け使用してください。
- ・3cm以上離してリモコンを操作するとエンジンは始動しません。

❶ 注意事項

エンジンスターターのリモコンと電子キーは、必ず付属のキーホルダーに取り付けしておいてください。

❶ 別売のハザードユニットII（商品コード：EP156）を取り付ける場合は、オプションのドアロックリレーNEXT（商品コード：EP162）も必要になります。



❶ カバー類の取り外し方（運転席側）

- ① ロアカバーを外す。…手前に引っ張り、DLC（診断コネクタ）を外す。
- ② 右サイドステップカバーを外す。
- ③ 右サイドカバーを外す。

❶ カバー類の取り外し方（助手席側）

- ① グローブBOXを外す。

止めネジ等



車種別取付資料

BOX No. 581321

車両情報

スズキ アルト・アルトターボRS
マツダ キャロル

平成26年12月～ HA36
平成26年12月～ HB36

2/5ページ

Type N.L.

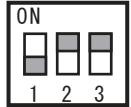
Opt. ドアロックリレーNEXT(EP162)

❗ プッシュスタートシステム付き車のみ

重要!

必ず、ハーネスを接続する前にDIP-SWをセットしてください。
ハーネス接続してから、DIP-SWをセットしても設定されません。間違えた場合はハーネス接続を一旦外してください。

DIP-SW



リレーユニットのDIP-SWは、2番と3番をONにセットしてください。1番はOFFのまま。(出荷時は、全てOFFにセットされています。)

❗ 専用ハーネスの取り付け方法は、本ページと3/5ページを参照してください。

エンジンスイッチの裏側
10P 黒色カプラ

専用ハーネス

10Pコネクタを割込接続

フットブレーキ上側
4P 白色カプラ

専用ハーネス

STOP出力(青)
緑

❗ 通常時：0Vで、フットブレーキを踏んだとき：12V

専用ハーネス
12V(黄)
青

初期設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のブレーキを踏み、リレーユニットのアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
- ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
- ⑤ 設定完了

※設定作業をしないとエンジンスタートでエンジンがかかりません。

配線内容(専用ハーネスの配線色)

車両配線色

- ❗ 専用ハーネスのアース(黒)取り付け位置：サイドカバー内のアースポイントボルトに共締め

専用ハーネス

S151S

❗ 取り付け方法

※リレーユニットのCN1コネクタを接続する前に、DIP-SWの2番と3番をONにセットしてください。(1番はOFFのまま)

- ① 専用ハーネスの10P中継コネクタを、エンジンスイッチ裏側のカプラに割込接続する。
- ② 専用ハーネスの各配線、黄色・青色(本ページ参照) 橙色(3/5ページ参照)を桃色エレクトロタップを使用して指定の場所に接続する。(あらかじめ接続先の配線は、テスターで電圧を確認して、確実に接続してください)
- ③ 専用ハーネスの6P白色コネクタから出ている各配線、桃色・紫色・青色(3/5ページ参照)を、白色エレクトロタップを使用して指定の場所に接続する。
- ④ 専用ハーネスの6P白色コネクタへLF変換ユニット(黒色収縮チューブ加工されたユニット)を接続する。
- ⑤ 専用ハーネスの14Pコネクタ側から出ている端子付の青色配線を、CN2ハーネスの空き端子へ差し込む。(3/5ページ参照)
- ⑥ アース(黒色)を指定位置に固定する。
- ⑦ 専用ハーネスの10P白色コネクタへ送信ユニットを接続して、助手席側BCMの右側面へ両面テープで貼り付けて固定する。(3/5ページ参照)
- ⑧ 14PコネクタをリレーユニットのCN1に接続する。

車種別取付資料

BOX No. 581321

車両情報

スズキ アルト・アルトターボRS 平成26年12月～ HA36
マツダ キャロル 平成26年12月～ HB36 3/5ページ

Type N.L.

Opt. ドアロックリレーNEXT(EP162)

❗ プッシュスタートシステム付き車のみ

❗ 専用ハーネスの取り付け方法は、本ページと2/5ページを参照してください。

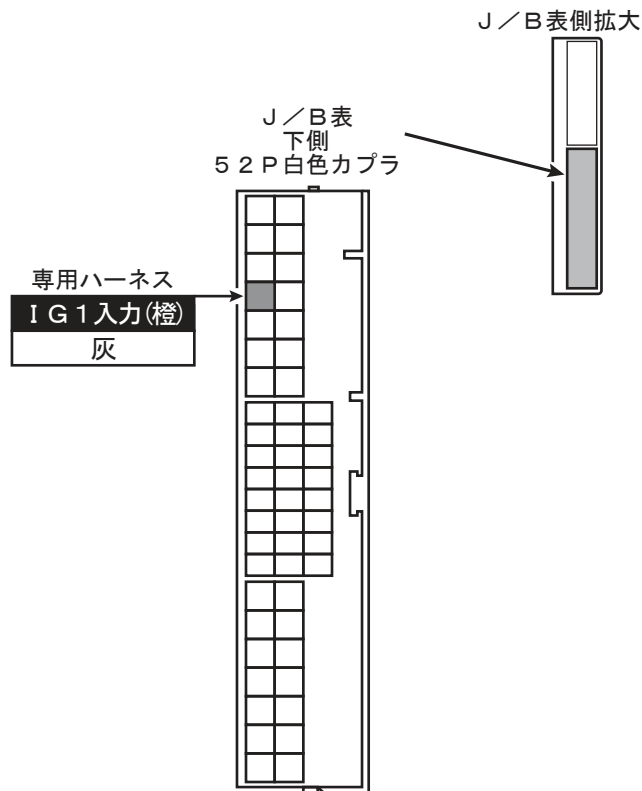
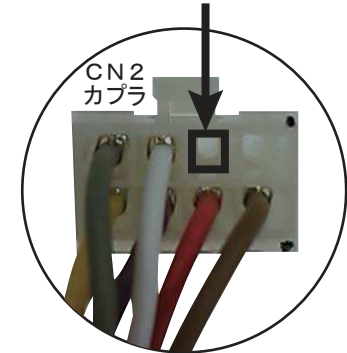
❗ CN2ハーネスの各配線の取り付けは4/5ページを参照してください。

送信ユニット取り付けエリア

❗ BCMの右側面の斜線部位置に取り付けしてください

重要!

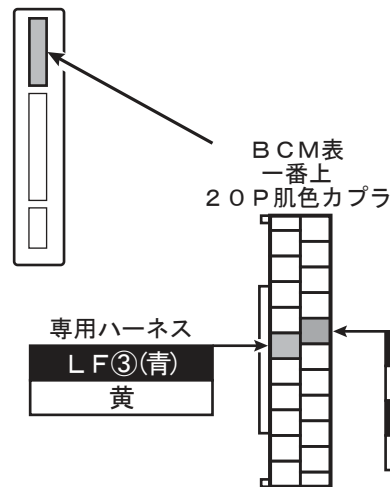
① CN2ハーネス8Pカブラのこの空き端子に専用ハーネスから出ている端子付きの空色を差し込む(隣も空きになっているので、間違えないよう注意してください)
※ドアロックリレーNEXTを取り付けする場合は、ドアロックリレー側ハーネスの中継8Pカブラのこの空き端子に差し込む



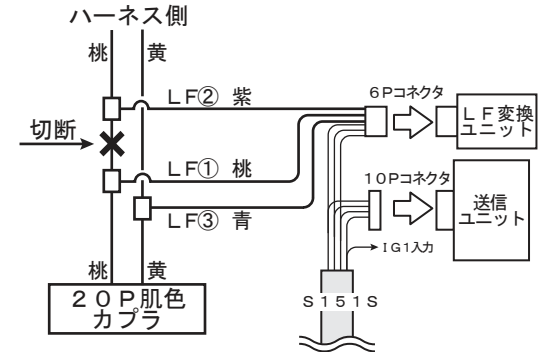
配線内容(専用ハーネスの配線色)
車両配線色

LF線①～③接続方法

BCM表側拡大



❗ 専用ハーネスS151Sの6P白色コネクタから出ている桃色と紫色配線は、車両側20P肌色カブラの桃色線を切断して、白色エレクトロタップで接続します。桃色と紫色配線は、接続先を逆にしないように注意すること。



❗ 接続後、エレクトロタップから桃色配線がはみ出さないように処理して、絶縁テープを巻いてください。

車種別取付資料

BOX No. 581321

車両情報

スズキ アルト・アルトターボRS 平成26年12月～ HA36
マツダ キャロル 平成26年12月～ HB36 4/5ページ

Type N.L.

Opt. ドアロックリレーNEXT(EP162)

❶ プッシュスタートシステム付き車のみ

❶ 特有の注意事項

※エンジンスタートでアイドリング中は、車両のリクエストスイッチおよび電子キーの操作でのドアロック/アンロックは作動しません。リモコンのSTOP操作でエンジンを止めてから、車両のリクエストスイッチまたは、電子キーのアンロック操作にてドアを開けて下さい。
NEXT LIGHTのリモコンによるアンロック操作は、アイドリング中も停止後も可能です。

※エンジンスタートにてエンジンを始動する際は、必ず予備（スペア）の電子キーも含めて全て車室外に出し、車両から10m以上離れて必ずリモコンのアンテナを伸ばしてから始動操作をしてください。
車両の近傍で操作すると、電子キーの電波と干渉して認証エラーとなり、エンジンが始動しないことがあります。

❷ 取り付け後の初期設定は、本ページの左下に記載した手順で、フットブレーキを使用して設定を行ってください。

（ドアロック・アンロック）

❸ ドアロックリレーNEXTが必要です。

❹ CN2のL端子（茶色）配線は接続せずに、必ずオート検出で使用して下さい。

初期設定

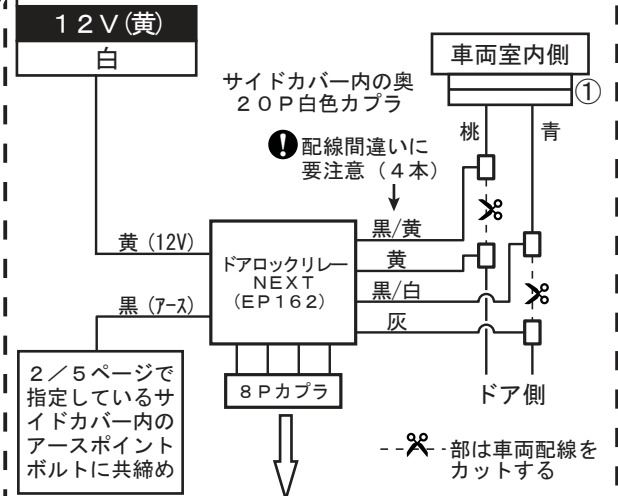
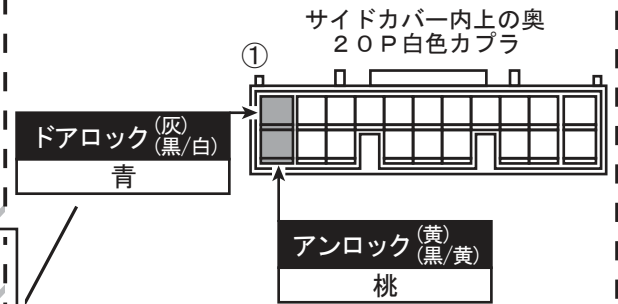
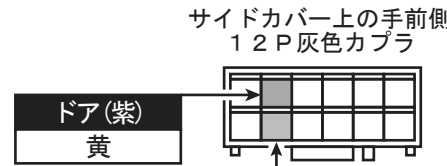
配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
 - ② リモコンでSTOPを押す。
 - ③ 車両のブレーキを踏み、リレーユニットのアラーム音が変わった後（約3秒後）ブレーキを放す。
 - ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
 - ⑤ 設定完了
- ※設定作業をしないとエンジンスタートでエンジンがかかりません。

配線内容（リレーユニットCN2線色）

車両配線色

❺ 運転席ドアの開閉のみ検出



2/5ページで指定しているサイドカバー内のアースポイントボルトに共締め

リレーユニットのCN2またはハザードユニットIIの8Pケーブルへ接続

車種別取付資料

BOX No. 581321

車両情報

スズキ アルト・アルトターボRS 平成26年12月～ HA36
マツダ キャロル 平成26年12月～ HB36

5/5ページ

Type N.L.

Opt. ドアロックリレーNEXT(EP162)

❗ プッシュスタートシステム付き車のみ



ハザードユニットIIを取り付ける場合のみ

❗ ドロックリレーNEXT(別売)の取り付けも必要になります。(4/5ページ参照)

❗ 注意事項

- ・接続前に必ず、接続先の車両側配線の作業電圧をテスター(電圧計)にて確認してください。
- ・接続先の作動電圧
通常時(何もしてないとき): 0V
ハザード(右): 右ウィンカースイッチを入れてウィンカーランプが点滅しているとき、点滅周期に連動して12Vになる。
ハザード(左): 同様に左のウィンカースイッチを入れて、点滅周期に連動して12Vになる。

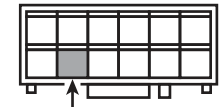
BCM裏側拡大



BCM裏側一番下
24P灰色カプラ



サイドカバー上の手前側
12P灰色カプラ



12V(黄)

白

❗ ハザードユニットからの白色線2本をそれぞれに接続。

配線内容(リレーユニットCN2線色)

車両配線色

NEXT LIGHT Q & A

ESL10-1

平成27年12月18日

Q1 認証エラーでエンジンが始動しない (図1)

- A1 : リモコンと電子キーは3cm以上離れないようにして、使用してください。
A2 : 全ての電子キーを車室外へ出して始動させてください。
※車室内に電子キーがあると始動しない場合があります。
A3 : LF配線とLF変換ユニットの接続を確認してください。
※正しく接続されていないと始動しません。
A4 : 車両から目安として10m離れて始動確認をしてください。
※車両との距離が近すぎると電波干渉によりエンジンが始動しない場合があります。

Q2 車内、または近くでは始動するが離れると認証エラーで始動しない

- A1 : アンテナケーブルのコネクタが抜けていないことを確認してください。
※抜けていると、20m~30mしか飛びません。(図2)
A2 : DIPスイッチの設定状態を確認してください。車種別取付資料を参照してDIPスイッチを再度セットしてください。セットした後にリレーユニットからCN1ハーネスを抜いて5秒~10秒待ってから差し直してください。
A3 : 送信ユニットが正しく接続されており車種別取付資料で指定された場所に取り付けしてあることを確認してください。
※正しく取り付けされていないと、20m~30mしか飛びません。

